

令和 4（2022）年度ベニズワイガニ日本海系群の 管理基準値等に関する提案

国立研究開発法人水産研究・教育機構並びに共同実施機関は、令和 4 年度アカガレイ日本海系群、ベニズワイガニ日本海系群の管理基準値等に関する研究機関会議において、令和 5 年度以降の資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

適用する管理規則

「令和 4（2022）年度漁獲管理規則および ABC 算定のための基本指針（FRA-SA2022-ABCWG02-01）」で示された 2 系資源の管理規則を適用する。

目標および限界水準

- ・ 大臣許可水域の目標水準は、資源量指標値の 80%水準である。大臣許可水域の限界水準は、56%水準である。
- ・ 知事許可水域の目標水準は、資源量指標値の 80%水準である。知事許可水域の限界水準は、56%水準である。
- ・ なお、最近年（2021 年）の大臣許可水域の資源量指標値は 36.9%水準、知事許可水域の資源量指標値は 95.5%水準である。

その他

- ・ 漁獲管理規則に使用した資源量指標値は、1980～2021 年の日本海べにずわいがに漁獲成績報告書の単位努力量当たり漁獲量（CPUE）を標準化して得られた許可水域別の標準化 CPUE である。